

「安心・安全のまちづくりを地域住民と共に」

～地域団体との連携を通して～

福島県いわき市

～放課後子どもプラン「入遠野おおやなぎ子ども広場」の実践～

1 はじめに

独居老人の増加や少子化問題、不法投棄をはじめとする環境犯罪の問題に対し、特に中山間地域では「地域社会」の安心・安全への取組みがますます重要となってきました。

ここ入遠野地区でも今年女子児童が下校中に、不審車に追尾された事犯が発生し、中山間地域だからこそ「安全」により強く危機意識を持つべきことを実感しました。



2 入遠野における本事業の背景



現在、地域住民による「子ども安全見守り隊」の活動により、子どもの安全確保や犯罪の抑止効果が期待されています。しかし両親共働きが多いことや学区が広範囲のため、不審者による凶悪な事件に巻き込まれる危険性もあります。

そこで、地域における防犯リーダーと地域公民館を積極的に活用し、子どもの安全を創出するシステム構築を模索していました。

3 学校と協働による本事業の展開

昨年、地域主催の「安心・安全のまちづくり」協議会に入遠野小校長を招き、まちづくりの理念について説明したところ、保護者からも学童保育開設要望や子どもの登下校の安全確保のお願いなど多数の声が学校に寄せられていることがわかりました。早速学校と協働で本事業を展開することで意見が一致し、その具現化に向け校長と協議を重ねた結果、今回の文部科学省からのモデル事業公募に応募し、8月末に採択されたのです。



4 本事業実施に向けて

(1) 実態の把握

本事業を開設する際、保護者の意識を把握しようと、次のような希望児童数、開設場所・時間を知る調査を学校に依頼しました。

「放課後子どもプラン」設置事前アンケート

あてはまる箇所の()に をつけてください。

設問1 「学童保育的こども居場所」が学区内にできたら、活用を希望しますか。

ア()ぜひ希望したい イ()できれば希望したい ウ()希望しない

設問1で(ア)もしくは(イ)と回答した方のみ次の設問にお答えください。

設問2 活用の際、お子様何人を希望しますか。(全ての学年対象です。)

ア()1人 イ()2人 ウ()3人

設問3 預ける時間帯は、次のうちどれを希望しますか。

ア()14:00~17:00 イ()15:00~18:00 ウ()16:00~19:00

エ()その他[]

設問4 場所は次のうち、どこを希望しますか。

ア()入定公民館 イ()入上公民館 ウ()入下公民館

エ()東山公民館 オ()入遠野公民館

カ()大平改善センター キ()根本改善センター

ク()その他[]

その結果、

- ・希望児童は全校児童の約半数の50人
- ・場所は、地区内の公民館と集会所の2カ所
- ・開設時間は15時~19時

が大半であることがわかりました。

(2) 運営上の障害打破に向けた取り組み

本事業で採択はされたものの本地区では初めての試みです。公民館借用における様々な条件規制、安心して任せられる安全管理員の確保、事故があったときの管理責任問題等々、大小の壁をいくつも乗り越えなければなりませんでした。

そこで各団体(組合、入小PTA、区長、婦人会等)の代表で組織する実行委員会を結成し地区実態にあう事業について約2ヶ月間のうち幾度となく協議を重ね、様々な可能性を模索しました。

4 本事業の実際

協議の結果、次のようなことが決まり昨年11月からスタートしました。

場 所：入遠野公民館(学校から徒歩2分)

開設日：月~金曜日 午後3時~午後7時

登録児童数：25人(登録制)

協力団体：4団体(PTA・婦人会・区長会・見守り隊)

安全管理員数：17人

活動指導員：3人



【子ども広場の開所式】

(1) 子ども広場の1日

子ども広場に着いたら、まず「うがい、手洗い」

次に、1時間程度の「お勉強タイム」

(宿題、読書等)

「自由時間(パート1)・体験活動」

「おやつタイム」

「自由時間パート2」

「おそうじタイム」



【お勉強タイムの様子】



【おやつタイム】



【自由時間】

さまざまな体験活動



活動指導員による
「お囃子太鼓」
の伝授





活動指導員による将棋体験



ホットケーキ作り



卓球大会



クリスマス会でのケーキ作り



異世代間交流



三世代が「いわきカルタ」遊びを通して、いわきの歴史や観光について学習



三世代混合チーム対抗「伝言ゲーム」遊び

感謝の会

日頃、お世話になっている地域の方々へ、感謝の気持ちを込めて、子ども達手作りの「感謝の会」を開きました。



【主催者あいさつ】



【子ども手作りの掲示】



【児童代表のお礼の言葉】



【一人ひとりに感謝のお手紙贈呈】

5 本事業の期待される効果

地域の宝である子どもの安全確保を地区一体となって取り組み、地区民同士の一層の親密感と地域力の向上につなげるこの事業。地域安全の取組みを地域協働で取り組む喜びを感じております。

協力機関

機関名	機関の所在地	当事業における担当内容
入遠野区長会 入遠野小PTA 子ども安全見守り隊 地域婦人会	いわき市遠野町入遠野地区 いわき市立入遠野小学校内 いわき市遠野町入遠野地区 いわき市遠野町入遠野地区	各地区の代表責任者 実行委員会の連絡調整 子ども広場での活動指導員 子ども広場での安全管理員